

問010038問題

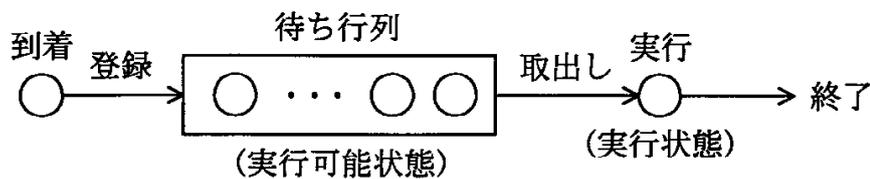
CPUの割当て方式に関する次の記述を読んで、設問1、2に答えよ。

オペレーティングシステムの役割の一つとして、プロセスにCPUを割り当てることがある。そして、プロセスの実行順序を決定する方式には、次のようなものがある。

(1) 到着順方式

到着順にプロセスを待ち行列の末尾に登録する。実行中のプロセスが終了すると、待ち行列の先頭からプロセスを一つ取り出して実行を開始する。

到着順方式を図1に示す。待ち行列に登録されているプロセスの状態を実行可能状態、実行中のプロセスの状態を実行状態と呼ぶ。



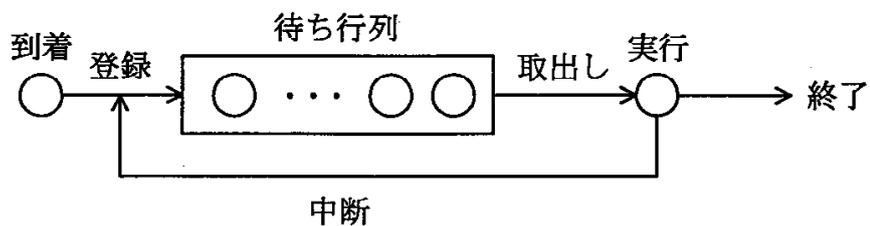
注 ○はプロセスを表す。

図1 到着順方式

(2) ラウンドロビン方式

到着順にプロセスを待ち行列の末尾に登録する。実行中のプロセスが終了すると、待ち行列の先頭からプロセスを一つ取り出して実行を開始する。また、実行中のプロセスが一定時間（以下、タイムクォンタムという）を経過したら、実行を中断して、待ち行列の末尾に再登録し、待ち行列の先頭からプロセスを一つ取り出して実行を開始する。

ラウンドロビン方式を図2に示す。



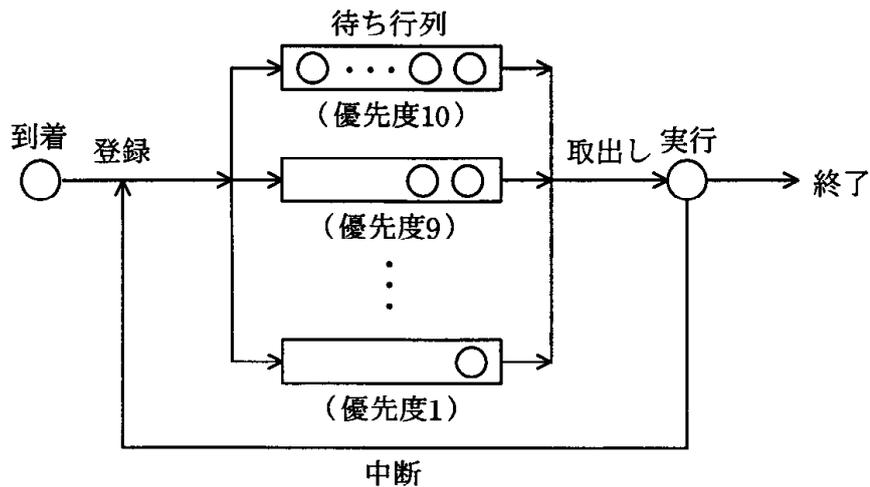
注 ○はプロセスを表す。

図2 ラウンドロビン方式

これらの方式の効率を示す指標としてターンアラウンドタイムがある。ここで、ターンアラウンドタイムとは、プロセスが待ち行列に到着してから実行が終了するまでの時間であり、プロセスの実行順序に影響される。

この方式では、次のとおりにプロセスの実行を制御する。

- ① プロセスを優先度に対応した待ち行列の末尾に登録する。
- ② プロセスが登録されている優先度の最も高い待ち行列の先頭からプロセスを一つ取り出して実行を開始する。
- ③ 実行中のプロセスの優先度が2以上のとき、実行時間が20ミリ秒経過するごとに優先度を一つ下げる。優先度を下げた結果、実行中のプロセスの優先度が実行可能状態にある優先度の最も高いプロセスよりも低くなった場合、実行中のプロセスを中断して、①に戻る。
- ④ 実行中のプロセスが終了した場合、②に戻る。



注 ○はプロセスを表す。

図3 優先度順方式の例

優先度順方式において、あるプロセスが終了した時点で表2に示す三つのプロセスだけが優先度に対応した待ち行列に登録されていたとする。このとき、三つのプロセスが終了する順番は である。そして、プロセスBの実行が終了したときのプロセスBの優先度は である。ここで、三つのプロセスが終了するまで新たに到着するプロセスはないものとする。

なお、プロセスの登録と取り出し、及び中断の処理でのオーバーヘッドは考えない。また、CPUを割り当てられたプロセスは、タイムクォンタム以外で中断することはない。

表2 プロセスの処理時間と優先度の初期状態

プロセス	処理時間 (ミリ秒)	優先度
A	60	6
B	70	8
C	100	5

cに関する解答群

ア A, B, C

イ A, C, B

ウ B, A, C

エ B, C, A

オ C, A, B

カ C, B, A

dに関する解答群

ア 1

イ 2

ウ 3

エ 4

オ 5

カ 6